



挨拶する林克ひまわり集会実行委員長

# 浜岡原発の再稼働を許さない!!

## 11.13ひまわり集会 in しずおか

11月13日(日)静岡市の駿府城公園で「浜岡原発の再稼働を許さない!! ひまわり集会 in しずおか」が開かれ、400名の参加者が浜岡原発再稼働反対・廃炉の声を上げました。

集会は赤Tシャツ・赤ふんどし姿で社会問題に対しての問題提起を、ユーチューブやツイッターでの動画投稿を行っている『せやろがいおじさん』の愉快なトーク・アトラクションから始まり、メインスピーカーは、せやろがいおじさん、三上元(元湖西市長)早川由美子(映画監督)

# しずおか平和の風

No.91  
2022年11月25日  
発行  
静岡市  
平和委員会  
静岡市葵区鷹匠  
1-5-8

TEL 253-1854  
FAX 252-0785  
メール  
peacecity1854@gmail.com  
ホームページ  
https://shizuoka-shi-heiwa-inkai.jimdofree.com



### 平和問題学習会開催!

静岡市平和委員会は10月19日シズウェルで、平和問題学習会を開きました。日本平和委員会が発行したパンフ『かなりキケンです・岸田政権の暴走にストップを・憲法にもとづく平和外交を』を中心に進められました。

最初に静岡市平和委員会の理事7名がそれぞれ各章の要旨を発表し、参加者みんなで討論し深め合うという方式です。今までは講師を招いて講演を聞く学習会が多かったのですが、このようにみんなで学び合う方式も楽しく感じました。

岸田内閣が自分の任期中に憲法改正を行おうとしていること。防衛費をGDP比1%から2%と2倍にして、いま大規模な軍備拡大が進められている



シズウェルで開かれた、平和問題学習会

### 藤枝、憲法9条の

### つむじ風

### いしづみ 碑を訪ねて

8月の末、憲法9条の碑に逢いに藤枝まで行ってきました。十数名が3台の車に分乗しての、フィールドワークです。藤枝市のかなり山奥まで登っていきました。

伊藤千尋さんの著書『憲法9条の碑を歩く』にもあるように9条の碑は国内にわずか二十数基、静岡県内にはここ藤枝市に一基あるのみです。

到着した当初は、なんでこんな遠くのしかも杉村孝さんという彫刻家の工房の敷地内にあるのか疑問に思いましたが、説明して下さった方のお話を聞いてようやくその理由がわかりました。

初めは中心部にある運動公園に設置を市役所の担当部長に求めたところ、運動をする公園の目的と違うと拒否され質問を重ねていく中で、国民の中で意見の異なる物を公共の公園内に建てるのはいかなものかと本音が出たそうです。そこ以外にも何か所かあたりましたがすべて拒否され、やむを得ずご自身の工房のある敷地内に建てたとのことでした。

藤枝市や他の都市でも非核平和都市宣言を掲げていても形ばかりで、実際には何もしていないのが実態です。特に最近では政府が露骨に憲法改悪、特に9条改悪を口にしてるので、やがてなくす物をあえてつくりたくないというところではないでしょうか。こちらでも世界の流れと力を合わせて日本国憲法を守り、活用させていこうではありませんか。

大石 博史

この危険な動きは岸田政権の本質を、私達の周りの人、特に若い人たちに伝えてゆくことが大切だと思います。三輪矩正

### 平和の概念が変わる時代 ~富田 家一郎~

エネルギーが再生可能な自然光・風などに広範囲に代わることで経済の枠組みが変わり、市場経済の役割も変化せざるを得ないと思える。そして、石油・ガスなどの地位・国際的な影響力が劇的に変化する可能性がある。そうなるか、平和の概念も変わってくるかもしれない。

近代化の条件では無くなったようだ。▽近い将来に経済の基本のエネルギーが再生可能な自然光・風などに広範囲に代わることで経済の枠組みが変わり、市場経済の役割も変化せざるを得ないと思える。そして、石油・ガスなどの地位・国際的な影響力が劇的に変化する可能性がある。そうなるか、平和の概念も変わってくるかもしれない。

▽清水の鉄舟寺に全国送電線路工事殉職者慰霊碑 (写真 設置者 電気事業連合会) がある。お寺の方に伺うと、送電用鉄塔を立てる仕事を清水の造船所で働くマスト職人が務めたこと聞きました。その縁で鉄塔工事の殉職者の慰霊碑が鉄舟寺にあるとのこと。明治維新以来電気事業は近代化する日本の要のインフラとして国家的大事業でした。それ故大きな犠牲をも伴ったのである。欧米各国は日本より先に同じ道を歩んできた。このような電化に代表されるインフラの建設は唯一の発展の条件であった。▽しかし、環境問題から再生可能な自然エネルギー、特に太陽光パネルは分散・独立設置が可能となった。また、発展途上国や難民キャンプなどで携帯電話を使用している二ユースが流れる。それに加えて、ICT・IoTの進展・グローバル化が中央集権的な巨大設備のインフラが近代化の条件では無くなったようだ。▽近い将来に経済の基本のエネルギーが再生可能な自然光・風などに広範囲に代わることで経済の枠組みが変わり、市場経済の役割も変化せざるを得ないと思える。そして、石油・ガスなどの地位・国際的な影響力が劇的に変化する可能性がある。そうなるか、平和の概念も変わってくるかもしれない。



# 台湾有事と日本

合戸 政治

## 台湾をめぐる緊張が続いている

8月2日、ナンシー・ペロシ米下院議長が台湾を訪問、蔡英文総統と会談、「台湾の自由を守る米議会の決意を示した」との声明を出した。予想されなかったことではあったが、中国は、これに対し猛反発をした。台湾島周辺でかつてない規模の軍事演習を行った。台湾本島を囲むようにして、その上空を越えて6地点にミサイルを発射した。

なぜ猛反発をしたのか？ 米大統領継承順位第2位の下院議長ペロシ氏の台湾訪問は、中国にとって一線を越えた行為であり、習近平国家主席がバイデン大統領との電話会談で、台湾へ

の干渉をやめるよう、直接警告した直後に行われ、中国にとってはメンツを潰された形となったからだ。

9月18日、バイデン大統領は、米CBSの番組で、米軍が台湾を守るのかとの質問に対して「イエスだ。もし実際に前例のない攻撃があった場合は」と明言した。今までのあいまい戦略から変化の兆しか？ しかし、米國務省は、その後「一つの中国政策」は変わらないとバランスを取った。

10月16日、共産党大会での習近平の活動報告の中で「台湾との平和的な統一の取り組みをできる限り誠実に継続していくが、武力行使の放棄は約束せず、あらゆる必要な措置を講じる選択

肢を留保する」と、前回大会報告では触れていなかった武力行使の可能性を言葉にした。

## 戦争になりにくい要素もあるが

ウクライナ戦争との関連で、今にも起こりそうに語られる台湾有事であるが、これは、すぐに起きるわけではない。今中国は武力侵攻はやりにくいだろう。

中国は、ウクライナ戦争の動向を見ている。ロシアの失敗の轍は踏みたくない。

また、中国は、ロシアと違って米国、日本をはじめ、ヨーロッパ、アジア、アフリカの国々と経済的な結びつきが強い。経済制裁されればロシア以上にこたえるだろう。

中国は、台湾を「核心的利益」と位置づけ、統一は必ずやり遂げるべき課題としているが、それより大事な「核心的利益」は、現政権の統治が揺るがないことである。

## 戦争に向かう流れは？

ウクライナ戦争が、米国・NATOの挑発から引き起こされているように、ペロシ訪台のような挑発が今後も繰り返される心配がある。このことと相まって、台湾が明らかに独立の方向を目指した場合は大変危険である。「独立の方向」というレッドラインは具体的にはどこかわからないが、賢明な台湾人は独立を口にしないといわれる。

米国の軍産複合体の存在も危険である。米国は、日本の国家予算に匹敵する軍事予算をもつ。

小さな国一国の軍事力に相当するといわれる空母打撃群を二個も持っているのは何のためか？「世界の安定にアメリカが必要」と言いたいのだろうか、実際は「世界の不安定がアメリカには必要」と言った方が的を得ている。

## 日本とのかかわり

## 絶対に戦争をしてはならない

アメリカだけでは足りない。日本の中にも台湾問題に積極的に関わって行くとする勢力がある。故安倍元首相は、「台湾有事は日本有事、日米同盟の有事でもある」と強調した。日米安保条約があり、米軍の部隊は沖縄を中心に展開している。2015年に強行可決された安保法制（戦争法）は、集団的自衛権を認めていて、台湾をめぐる米中の戦争が始まれば、殆ど自動的に日本も参戦する仕組みとなっている。

すでに南西諸島には、日本の自衛隊による対中国シフトが出来ている。与那国島にはレーダーサイト、石垣島や宮古島、奄美大島などにはミサイル基地が設置されている。また、陸海空にわたって日米共同演習が日常的に行われている。

強力になりつつある中国軍に對抗するために、米国は日本の軍備強化を求めている。軍事費2倍化が問題になっ

## お詫び

前号(91号)2面、「久保山愛吉さんの命日 追悼行動」の文中、静岡県原水協理事長の御名字の漢字を間違えました。申し訳ありません。  
正しくは「木藤」様です。お詫びして、訂正いたします。

ているが、もとを辿れば米国の要求でもある。

こうした環境にはあるが、米国も中国もぎりぎりのところでの応酬を繰り返しているし、危険回避の手だてもそれなりにとっている。

いずれにしても、台湾をめぐる米中の戦争は絶対にさせてはならない。ましてや、日本がそれに関わって、米国とともに中国と戦争をするようなことがあってはならない。(10月28日記)

## 訴えとお願い

皆さん。私たちの平和運動の将来、若い世代への継承、そして平和委員会の活動継続と、世代交代が差し迫った課題となっています。その解決にはフェイスブック (Facebook) ツイッター (Twitter) などSNSの活用が必須とされています。

そこで、会員・読者の皆さん。知人、友人、家族の方にSNSを教わり、広げてください。

「政治を語る力」をつけ、「身内」ではなく、社会全体に呼びかけることが望まれます。

よろしくお祈りします。

静岡市平和委員会 会長  
海野 順二



## 平和の動き 11~12月



### 11月

29日(火) 9の日行動 青葉前 12:00

### 12月

7日(水) 核禁条約参加署名 東急前 12:00

8日(木) 「武器はいらない 核はいらない」  
平和を守る全国母親連絡会連鎖行動  
東急前 12:00

9日(金) 9の日行動 青葉前 12:00

19日(月) オール静岡アクション 青葉前 17:30

29日(木) 9の日行動 青葉前 12:00